

編集後記

著者	細見 博志
雑誌名	講義録・研究者になりたい人のための倫理 - - 先端科学を中心に
ページ	82-82
発行年	2006-12-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/5502

編集後記

平成16（2004）年に金沢大学21世紀 COE プログラム「発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成——文理架橋型研究による挑戦の第一ステージ」が発足した。COE として認可されるにあたって、日本学術振興会「21世紀 COE プログラム委員会」の委員長・江崎玲於奈の名前で「審査結果表」が内示されたが、その中に「補助事業開始にあたっての留意事項」として、「…また、多様な背景を持つ学生に対し、倫理面を重視した幅広い分野の教育を行うために適切な教育システムの構築が望まれる」と記されていた。

この示唆を受けて事業推進担当者として倫理思想史を専門とする私（細見博志）も加わる事となった。そして金沢大学で倫理問題に関心の深い方々と心理学関係の研究を行っている方々を誘って、平成17年2月14日に倫理指針研究会を発足させた。メンバーは、青野透（大学教育開発・支援センター、医事法）、井上英夫（法学部、社会保障）、岩本健良（文学部、社会学）、柴田正良（文学部、哲学）、武居渡（教育学部、心理学）、野村真理（経済学部、社会思想史）、松川順子（文学部、心理学）、棟居俊夫（大学病院、精神科）、そして細見博志（医学系研究科、倫理学）であった。その後、高橋涼子（法学部、医療社会学）、小出寛（医学系研究科、生命科学）が加わり、松川順子が退会して、現在に至っている。

この研究会が課題としているのは、研究倫理指針の策定と、研究倫理教育の実施である。前者の課題への対応は、研究倫理に対する基礎的な研究として、現在に至るまで続いており、平成18年度後期からは、毎月第4金曜日を例会として集まっている。後者の課題の一端は、平成17年度後期、青野透のイニシアチブで実施された。それがこの講義集『研究者になりたい人のための倫理——先端科学を中心に——』の元となった授業である。金沢大学共通教育棟（角間キャンパス）と金沢大学医学部保健学科（鶴間キャンパス）の二つの教室に双方向遠隔授業システムがあり、どちらの教室で授業を行っても他方で視聴できるようになっており、全15回の授業の内、10回は角間キャンパスから、5回は鶴間キャンパスから発信された。

この講義集は、その時の授業担当者に依頼して、執筆していただいた。講義を忠実に再現している場合もあれば、その時のスライドの再現の場合もあり、また論文に書き改めたものもある。巻頭言は、金沢大学共同研究センター長・村上清史にお願いした。原稿を寄せてくださった方々、特に東北大学大学院の清水哲郎先生、並びに、授業を担当してくださった方々、特に理化学研究所の山口陽子先生、に改めて感謝の言葉を申し上げる。

平成18年12月 細見博志